

子どもたちの輝く笑顔に会いたくて

～むろづみ朝読みの会の活動～

1 活動の趣旨

子どもたちにとって、読書は様々な知識を吸収するとともに、豊かな感性をはぐくむ大切なものです。子どもたちには「少しでも多くの本に出会わせたい」と考えています。しかし、子どもたちを取り巻く環境が少しずつ変化する中で、いかに子どもたちに本に関する関心を高めていくことができるかが大きな課題となっています。

私たち「むろづみ朝読みの会」は、「子どもたちの輝く笑顔に出会うこと」を楽しみに、15年前から、朝の時間を使って、室積小学校の各教室で読み聞かせをしています。

2 活動一覧

| 内容 | 日時 | 参加人数 |
|-------------------------|-------------------|--------|
| (定例) 読み聞かせ | 毎週金曜日 8:10～8:20 | 約 50 人 |
| 情報交換会 (4回) | 令和3年 6月、9月、12月、3月 | 会員 13名 |
| 図書の本のバーコード化作業 ボランティア | 令和3年6月24日～7月16日 | 約 6人 |

3 活動内容

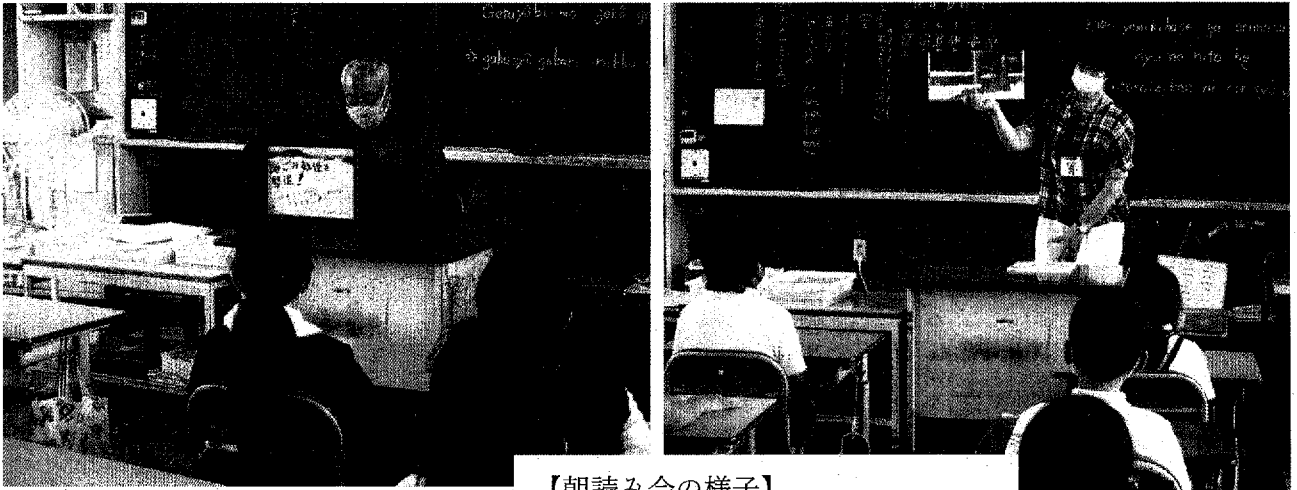
(1) (定例) 読み聞かせ会の実施

ひとりでも多くの子どもたちに、絵本や物語のおもしろさを伝えたい。本を読むことで知った、わくわくする感動、知恵と勇気、生きることの大切さ、そうしたものを親から子へ、大人たちから次の世代の人たちに伝えたい。そんな思いがひとつになって、朝読みの会はスタートしました。

読み聞かせの時間は、毎週金曜日 8:10～8:20までの 10 分間。子どもたちの輝く笑顔に出会える最高の時間です。読み聞かせは、読み手と聞き手である子どもたちが、本を通して行う、生きたコミュニケーションです。CD から流れてくるプロが語るおはなしよりも、今、目の前で読んでくれている温かく心のこもったおはなしによって、楽しいおはなしの世界を共有することができるのです。主役は本と子どもたちです。演劇のような表現や、笑いを誘う必要はありません。また、同じ本でも読む人によって雰囲気の違い

ます。読み方が下手だから・・・ということは気にせずに、おはなしを子どもたちと一緒に楽しもうという気持ちで、読み聞かせをしています。

読み聞かせ後は、必ず反省会を行うようにしています。選んだ本はよかったか、子どもたちは喜んで聞いてくれていたか、次に読む本は、どのようなものがよいか、仲間同士で練習し合い、常に学んでいこうとする姿勢を大切にしています。



【朝読み会の様子】

(2) 情報交換会

年に4回行う情報交換会では、読んだ本や紙芝居を紹介し合い、子どもたちが喜んでくれたか、どんなジャンルの本がよいのかを話し合っています。今年度はコロナ禍ということもあり、子どもたちと距離をあけての読み聞かせをすることで、選書にも工夫をしました。絵の大きい絵本や、語るように話す本など、学年に応じて選書をしました。どのようなマスクをすると話しやすいのか、声がよく聞こえるのかを試して、情報交換もしました。読み手の表情が伝えられないのは残念でしたが、その分、声に表情をもたせました。また、学校と連携をとって、読み聞かせ後の児童の様子や授業の進度、学年の特色に合わせた本などを選書しています。

4 1年を振り返って

今年度はコロナ禍の中、子どもたちが楽しみにしている毎週金曜日の朝の読み聞かせができない時期がありました。学校の行事も延期や中止などがあるということなので、せめて読み聞かせの時間は楽しく聞いてほしいと思い、読み聞かせがあるときは私たちが楽しみにさせていただいています。子どもたちの輝く笑顔に出会える読み聞かせは、子どもたちだけでなく、私たちの楽しみでもあります。

また、今年度は室積小学校の図書の本のバーコード化の作業のボランティアにも参加させていただき、今、室積小学校にどんな本があるのか、どんな本に子どもたちが興味をもっているのかを作業を通して知ることができました。

これからも、学校の先生方と連携しながら、子どもたちの健やかな成長のために、そして「子どもたちの輝く笑顔をみるために」がんばって活動していきたいと思ひます。